

期間限定!

全ての会を見逃し配信

3/24(日)まで



お申し込み

鶴見川流域水マスタープラン (水マス) 連続講座 (リモート学習会)

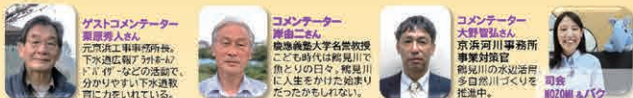
2023年度 水マス学校【第3回】

だれがきれいにしている? 鶴見川



横浜市港北水再生センター (株) モジップ

鶴見川はかつて汚染の川と言われ、人々が川に背を向けてきました。しかし、現在、亀の甲橋の下には美しいアユが群れて泳いでいます。流域にある下水道と7つの下水処理場が、鶴見川を都市の清流に変貌させ、生きものが多様にくらせるようにした事実を知る人は多くはありません。子どもたちにも興味をもって、楽しく、分かりやすく、探っていきます。



主催: 地域防災施設鶴見川流域センター 共催: 連携鶴見川流域ネットワーク
協力: 横浜市水再生協会 横浜市水再生センター 横浜日吉新聞 新横浜新聞(一部予定)
お問合せ先: TEL:045-475-1998 FAX:045-475-1999
流域センター(毎週火曜日休館) 10:00~17:00 Email: ktr-waku2tsurumi@mlit.go.jp

※ 鶴見川流域水マスタープラン(水マス) ※ 鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や池に多様な生きものがくらせるように市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です。5つのマネジメントで構成されています。
※ 連続講座 予定 ※ 各回 19:30~21:00 申し込み受付中 ※ 内容の変更もあります
【第1回】水辺ふれあいM(マネジメント) 終了
【第2回】自然環境M 11/15(水)映像が語る鶴見川の魅力 終了
【第3回】平常時水M 12/13(水)だれがきれいにしている? 鶴見川
【第4回】震災・火災時M 1月予定 けいひん号の秘密を発見せよ!!
【第5回】洪水時水M 2月予定 流域思考で水害を知る

鶴見川流域水マスタープラン (水マス) 連続講座 (リモート学習会)

2023年度 水マス学校【第1回】

生きものいっぱい ~鶴見川は子どもたちのワンダーランド~



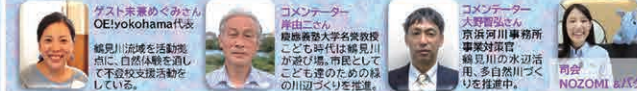
2023年9月27日(水)

19:30~21:00 参加費:無料
見逃し配信 10/4(水)~11/5(日)
当日配信員:60名 Zoom生配信
見逃し配信希望の方も申込みください

見逃し配信
あるよ!

水辺ふれあいマネジメント

都市の小さな自然、鶴見川水辺には生きものがいっぱい。タモ網で魚もたくさんとれる。大人たちが安全な場所を開けば、子どもたちがワイワイとやる。心をふさいでいた子どもたちも生き活きと復活する。鶴見川の水辺に何が隠れている? キラキラ光る鶴見川水辺の秘密を探っていきましょう!



主催: 地域防災施設鶴見川流域センター 共催: 連携鶴見川流域ネットワーク
協力: OEl Yokohama 網島パリエン島プロジェクト キリンビール(株)横浜工場 横浜日吉新聞 新横浜新聞
お問合せ先: 地域防災施設鶴見川流域センター (毎週火曜日休館) 10:00~17:00
TEL:045-475-1998 FAX:045-475-1999 Email: ktr-waku2tsurumi@mlit.go.jp

※ 鶴見川流域水マスタープラン(水マス) ※ 鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や池に多様な生きものがくらせるように市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です。5つのマネジメントで構成されています。
※ 連続講座 予定 ※ 各回 19:30~21:00 申し込み受付中 ※ 内容の変更もあります
【第1回】水辺ふれあいM(マネジメント) 終了
9/27(水)生きものいっぱい~鶴見川は子どもたちのワンダーランド~
【第2回】自然環境M 10/27(金)映像が語る鶴見川の魅力 終了
【第3回】平常時水M 11月予定 だれがきれいにしている? 鶴見川
【第4回】震災・火災時M 1月予定 けいひん号の秘密を発見せよ!!
【第5回】洪水時水M 2月予定 流域思考で水害を知る

鶴見川流域水マスタープラン (水マス) 連続講座 (リモート学習会)

2023年度 水マス学校【第4回】

けいひん号の秘密を発信せよ!!



震災・火災時水マネジメント

ゲスト お笑いコンビ
ハンジロウ



鶴見川を波しびき上げて走るけいひん号は格好いい! 乗船して、川から街を見たら、なんと魅力的なんだろうと、感動してしまったのです! でも人を楽しませるのが、けいひん号の真の役目ではない。鶴見川下流域を良く知るハンジロウさんをお迎えして、けいひん号の役目は何か探ってまいりますので、ぜひ! ご参加ください。



主催: 地域防災施設鶴見川流域センター 共催: 連携鶴見川流域ネットワーク
協力: 駒岡地区連合会大曲広場実行委員会 YOUテレビ株式会社 下流ネット・鶴見 ニデア 横浜日吉新聞 新横浜新聞
お問合せ先: TEL: 045-475-1998 FAX: 045-475-1999
流域センター(毎週火曜日休館) 10:00~17:00 Email: ktr-waku2tsurumi@mlit.go.jp

※ 鶴見川流域水マスタープラン(水マス) ※ 鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や池に多様な生きものがくらせるように市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です。5つのマネジメントで構成されています。
※ 連続講座 予定 ※ 各回 19:30~21:00 申し込み受付中 ※ 内容の変更もあります
【第1回】水辺ふれあいM(マネジメント) 終了
【第2回】自然環境M 11/15(水)映像が語る鶴見川の魅力 終了
【第3回】平常時水M 12/13(水)だれがきれいにしている? 鶴見川 見逃し配信
【第4回】震災・火災時M 1月31日(水)けいひん号の秘密を発見せよ!!
【第5回】洪水時水M 2月28日(水)流域思考で水害を知る

鶴見川流域水マスタープラン (水マス) 連続講座 (リモート学習会)

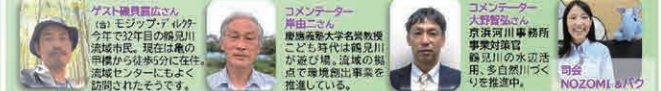
2023年度 水マス学校【第2回】

映像が語る鶴見川の魅力



映像: (合) モジップ 自然環境マネジメント

NHK「ワイルドライフ」や「ダーウィンが来た!」で国内と海外あわせて50本以上制作するモジップ社の職員さんがゲスト。2019年から鶴見川で撮影開始。さわやか自然百景とワイルドライフの3作品を制作。絵画を織りこんだような美しい映像で制作された作品には涙する感動がありました。映像制作という新たな視点から鶴見川流域の自然を考えます。



主催: 地域防災施設鶴見川流域センター 共催: 連携鶴見川流域ネットワーク
協力: (合)モジップ 田中貴金属グループ NPO法人鶴見川源流ネットワーク 横浜日吉新聞 新横浜新聞
お問合せ先: 地域防災施設鶴見川流域センター (毎週火曜日休館) 10:00~17:00
TEL:045-475-1998 FAX:045-475-1999 Email: ktr-waku2tsurumi@mlit.go.jp

※ 鶴見川流域水マスタープラン(水マス) ※ 鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や池に多様な生きものがくらせるように市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です。5つのマネジメントで構成されています。
※ 連続講座 予定 ※ 各回 19:30~21:00 申し込み受付中 ※ 内容の変更もあります
【第1回】水辺ふれあいM(マネジメント) 11/5(日)まじっく決定版
生きものいっぱい~鶴見川は子どもたちのワンダーランド~
【第2回】自然環境M 11/15(水)映像が語る鶴見川の魅力 終了
【第3回】平常時水M 12/13(水)だれがきれいにしている? 鶴見川
【第4回】震災・火災時M 1月予定 けいひん号の秘密を発見せよ!!
【第5回】洪水時水M 2月予定 流域思考で水害を知る

鶴見川流域水マスタープラン (水マス) 連続講座 (リモート学習会)

2023年度 水マス学校【第5回】

流域思考で水害を知る



洪水時水マネジメント

「鶴見川の流域はバクノ形」... 子どもたちの間にも広がった合言葉です。しかし「流域」の概念は、まだ社会的に認知されていません。流域を知ることがなぜ重要か? ゲストの太刀川さんと流域思考の提唱者である岸さんとの対談から、「知る」から始めてみましょう。



主催: 地域防災施設鶴見川流域センター 共催: 連携鶴見川流域ネットワーク
協力: 災害防止対策連絡協議会・鶴見川水系 NPO法人鶴見川源流ネットワーク 横浜日吉新聞 新横浜新聞
お問合せ先: 地域防災施設鶴見川流域センター (毎週火曜日休館) 10:00~17:00
TEL:045-475-1998 FAX:045-475-1999 Email: ktr-waku2tsurumi@mlit.go.jp

※ 鶴見川流域水マスタープラン(水マス) ※ 鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や池に多様な生きものがくらせるように市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です。5つのマネジメントで構成されています。
※ 連続講座 予定 ※ 各回 19:30~21:00 申し込み受付中 ※ 内容の変更もあります
【第1回】水辺ふれあいM(マネジメント) 終了
生きものいっぱい~鶴見川は子どもたちのワンダーランド~ 終了
【第2回】自然環境M 11/15(水)映像が語る鶴見川の魅力 終了
【第3回】平常時水M 12/13(水)だれがきれいにしている? 鶴見川 終了
【第4回】震災・火災時M 1/31(水)けいひん号の秘密を発見せよ!! 見逃し配信
【第5回】洪水時水M 2/28(水)流域思考で水害を知る



ゲスト 太刀川英樹さん
NOSTIGNER代表、JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会)理事。『東京防災』のデザイン・編集を手掛ける。気候変動への対応を地域で考える思想と共感。「ADAPTMENT」を世界に向けて提唱する。著書に『進化思考』。多発する発想と実行力のデザイナーであり、クリエイター。